

④ Potato Kids(ポテトキッズ) (日吉津村)

日吉津村の子どもや保護者が耕作放棄地を活用した農業や子ども食堂の運営などに取り組む「Potato Kids(ポテトキッズ)」が発足してから今年で4年目を迎えた。子どもの「居場所づくり」から始まった活動は地元住民や企業、団体を巻き込み、地域に浸透しつつある。

不登校の子どもも友達と一緒に多様な体験をしながら社会で必要な力を身につけられる場になればと2022年4月に発足した。子



子どもがつくる子どもの会社



子ども食堂で提供する料理を準備するメンバー

子どもがつくる子どもの会社」をコンセプトに、耕作放棄地でのダイコンやトマトなどの栽培、育てた野菜を提供する子ども食堂の運営、花壇作りのボランティアや催しでの出店などを行う。

毎月1回開く子ども食堂は、子どもからお年寄りまで約50人が利用し、多世代の交流の場にもなっている。子ども食堂の温かい雰囲気に触れて自然にメンバーに加わった川口乃愛さん(12)は「みんな仲が良く、楽しい」と話す。

本年度に挑戦した昔ながらのもち米作りは、地元ケーブルテレビの放送で取り組みを知った農業保全会から声をかけられたことがきっかけで実現した。

地域を元気にする県民の優れた地域づくり活動を表彰する「令和7年度鳥取県ミラ・クルとっとり運動・SDGs活動表彰」の学生部門(小中学校の部)で最優秀賞を受賞した。

保護者代表の光谷純子さんは「最初は活動に懐疑的な声もあったが、いろいろな人の協力も得ながら覚えてもらえた」と取り組みが地域に浸透してきていることを実感する。